

施策 No.6 保健衛生の向上										基本計画 掲載頁	68～69
総合評価	B：順調に進捗した	今後の 方向性	Ⅱ：一部見直し等 の余地がある	施策展開の評価数		A	0	B	7	C	0
				(参考)事務事業評価の実施状況		A	0	B	12	C	0
成果	妊娠期から子育て期にかけて、専門的な相談支援を行うことができた。乳幼児の予防接種については、適切な時期に確実に接種を受けられるよう勧奨通知を行い、高い接種率を維持できた。			成果・課題を 踏まえた今後の 対応方針	検診（健診）については、積極的に受診勧奨を行うなど、更なる受診率の向上を目指す。精神保健については、国や県の動向を注視しながら、精神保健に関する相談や自殺予防対策に関する事業を実施していく。 また、保健師等の確保を積極的に行うとともに、働きやすい職場環境づくりを推進し、保健センター機能の強化に努める。						
課題	検診（健診）の受診率は上昇したが、目標とする50％には至らなかった。また、市民のニーズに応えられる保健サービスを提供するため、専門性の高い人材の定着が課題となっている。										

主な施策展開の進捗状況（定性的な評価）

【評価の基準】 A：想定以上に進捗した B：順調に進捗した C：進捗が遅れた

(1) 保健予防の推進		評価	主な取組実績・評価理由（※評価「C」とした場合、課題とその対応方針も記載）	所管課
1	母子保健サービスにおいて、妊娠期から子育て期にかかる切れ目ない支援体制を構築するとともに、乳幼児健康診査の未受診の把握や訪問等による相談支援の充実に努めます。	B	・妊娠届出時面談、赤ちゃん訪問、乳幼児健康診査等の母子保健サービスにおいて、妊娠期から子育て期にかかる切れ目ない支援を行うとともに、乳幼児健康診査の未受診の把握や訪問等による相談支援も実施した。	保健センター
2	健康問題の複雑化に対応し、市民ニーズに応えられる保健サービスを提供するため、保健センターの機能強化を図るとともに、保健師などの専門性の高い人材の確保に努めます。	B	・退職等による保健師の減少が課題だが、採用試験の機会を増やすことで確保に努めた。	保健センター
3	市民のこころの健康づくりを推進するため、講演会・講座等の開催、相談事業、正しい知識の普及啓発を行うとともに、関係機関と連携し、精神保健事業の充実を図ります。また、自殺対策計画に基づき、自殺予防対策事業について、効果的な事業の推進に努めます。	B	・心の健康づくりを推進するため、ゲートキーパー養成講座を実施し、訪問・面接・電話等の相談事業を通じて庁内や病院等の関係機関と連携しながら対応した。 ・自殺死亡率が目標値を下回っている状況にある。自殺の多くは、多様かつ複合的な原因及び背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きているものであり、周囲の方の気づきや適切な相談につなぐ体制づくりが必要である。引き続き、自殺対策計画に位置付けた事業の進捗状況を評価し、自殺予防対策事業については内容を精査し、継続する。	保健センター
4	検（健）診・予防接種について、市民が受けやすい環境づくりを進め、疾病予防の強化を図ります。	B	・医療機関との連携により、受診（接種）機会の確保に努めた。 ・引き続き、疾病の発生及び蔓延防止と、市民の保健意識向上を図るため、適切な情報提供に努めた。 ・がん検診受診率が目標の50％を下回っており、がん検診を受診しない理由として「時間がない」、「健康状態に自信がある」、「必要性を感じない」等が挙げられる。そのため、引き続き受診勧奨を行い、休日にも集団検診の機会を設ける。さらに、検診の重要性や正しい知識を浸透させていくため、健康まつり及び保健センター窓口にごがん検診のパンフレットを設置及び配布し、引き続き受診率向上に努める。	保健センター
(2) 保健・医療の連携強化		評価	主な取組実績・評価理由（※評価「C」とした場合、課題とその対応方針も記載）	所管課
5	関係機関との連携を図り、日常の医療体制のほか、救急医療体制の確保・充実を図ります。	B	・朝霞地区小児救急医療運営事業補助、朝霞地区病院群輪番制病院運営費補助及び朝霞地区小児救急医療寄附講座支援事業補助を病院及び大学に対して実施し、地域の救急医療体制の確保・充実に努めた。	保健センター
6	地域医療機関における看護師不足に対応するため、朝霞地区看護専門学校の運営について助成を行います。	B	・朝霞地区4市で朝霞地区看護専門学校の運営に対し補助を行い、地区内での人材育成・確保を支援した。	保健センター
(3) 感染予防対策の推進		評価	主な取組実績・評価理由（※評価「C」とした場合、課題とその対応方針も記載）	所管課
8	感染症の正しい知識の普及・啓発を図り、感染症の予防とまん延の防止に努めるとともに、関係機関や団体と連携し、疾病予防体制の整備を図ります。	B	・広報、ホームページ及びSNS等を用いて、感染症に関する情報の発信に努めた。 ・朝霞地区医師会や市内医療機関、近隣他市と情報共有を行い、体制構築に努めた。	保健センター

施策のK P I（重要業績評価指標）

【達成度の基準】 A：目標を上回るペースの指標値 B：目標値を達成するペースの指標値 C：目標を下回る指標値

項目	現状値 (策定時点)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標値	令和6年度時点 達成度	所管課
がん検診受診率	胃がん 16.9% 乳がん 21.8% 子宮頸がん 18.5% 大腸がん 20.7% 肺がん 23.6%	胃がん 19.7% 乳がん 27.5% 子宮頸がん 22.3% 大腸がん 22.7% 肺がん 25.2%	胃がん 20.8% 乳がん 28.5% 子宮頸がん 23.1% 大腸がん 23.0% 肺がん 25.7%				50%	C	保健センター
母子健康手帳交付時の妊婦の状況 把握率	95%	99.8%	99.7%				100%	B	保健センター
自殺死亡率（人口10万人対）	15.04	13.88	15.66				11.5	C	保健センター